

平成31年2月6日(水)



## 仁済大学校交流会 報告書



国立木更津工業高等専門学校 機械・電子システム工学専攻 2年  
松田 美勇史

### 1. 概要

- 交流校 : 大韓民国, 私立仁済(インジェ)大学校  
交流学科 : デザインエンジニアリング専攻  
参加者(日本) : 男子3人, 女子4人, 教員2人  
参加者(韓国) : 男子7人, 女子4人, 教員1人  
日時 : 2018/12/26(水)-29(土)韓国滞在  
内容 : デザインエンジニアリング専攻の学生らによる体験型講座を通してデザイン思考を身につけ, アイデア創出から形成までの一連の手法を習得する。



図1 仁済大学校



図2 ワークショップの様子

### 2. 交流内容

- 日程 : 12/27(木) 1日目 ①ブレインストーミング  
②アイデアスケッチ  
12/28(金) 2日目 ③プロトタイピング  
④プレゼンテーション

課題 : 「高齢者のためのデザイン」使いやすいデジタルデバイス, 健康支援, コミュニケーション, 娯楽の4つの観点から問題解決のためのアイデアを創出する。

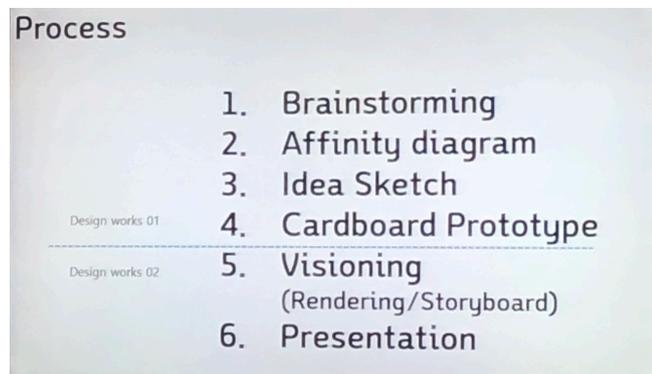


図3 ワークショップの流れ

【①ブレインストーミング】

3, 4人のチームを作り, 英語で議論する。付箋にアイデアを書いて大きな紙に貼り, グループ化して考えを整理する。



図3 グループディスカッション

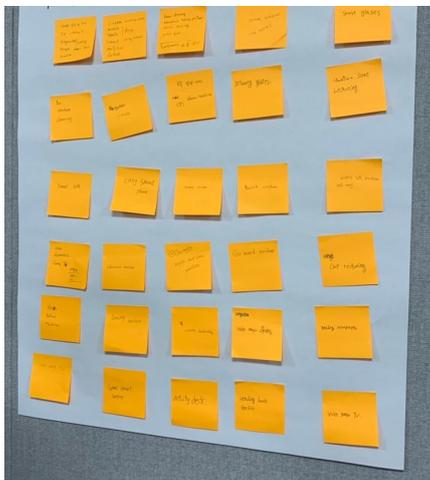


図4 ブレインストーミング

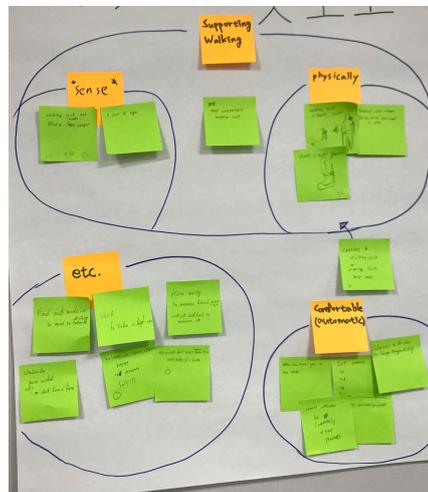


図5 グループピング

【②アイデアスケッチ】

アイデアの中から最も良いものを選び, 完成予想図をスケッチする。

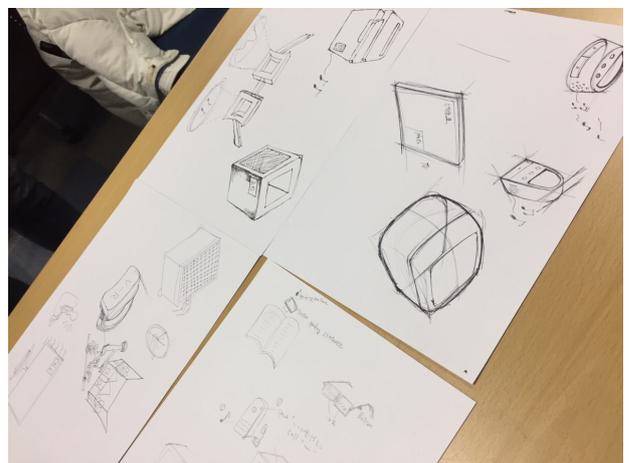
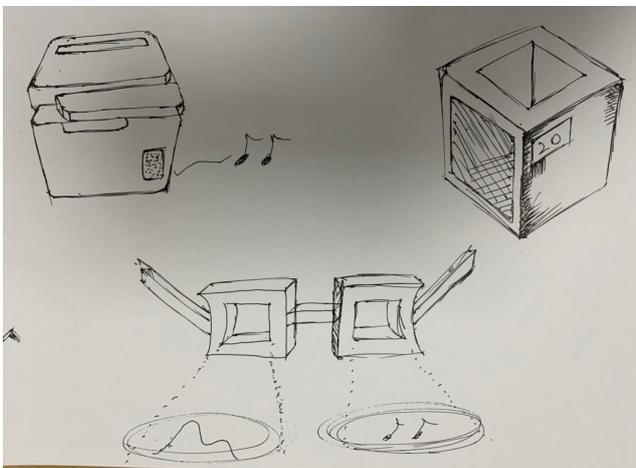


図5 アイデアスケッチ

### 【③プロトタイピング】

学内の設備を使ってアイデアを形にする。



図6 レーザーカッターと段ボール板によるプロトタイピング

### 【④プレゼンテーション】

各チームで作成したプロトタイプを見せながら、スライドを用いてアイデアの発表を行う。



図7 資料作成



図8 プレゼンテーション

## 3. 所感

仁済大学校は私立の総合大学ということもあり、学生が多く設備が整っていて、全体的に規模が大きい。デザインエンジニアリング専攻は絵を描くことが中心であるイメージがあったが、技術教育にも力を入れていて、Arduino等の開発ボードやアプリ開発の授業も行っているようだ。また、新しくドリームファクトリーというプロトタイピングルームが開設され、3Dプリンタや各種工具など、理工系学生も羨むような設備が整えられている。

私は仁済大学校のデザインエンジニアリング専攻の学生と交流するのは2回目だが、毎回驚かされるのは、彼らのスピード感である。デザインエンジニアリング専攻の学生のほとんどは、絵を描くことが好きという動機で専攻を選んでいる。それゆえ、スケッチ能力が高く、スピーディーにアイデアを可視化する。彼らの中には、2日間という限られた時間の中でアプリのプロトタイプを開発してしまった者もいる。高専生をはじめとした理工系学生は、しばしばスピード感というものが失われているように見受けられる。デザインエンジニアリング専攻の学生らと交流することでアイデア表現のスピード感を養うことができるのではないかなと思う。